

【令和元年 4 月】

地域を支える仕組みづくり

大崎市保健推進員連絡協議会松山支部協議会にて支え合いについて考えました

平成 31 年 4 月 22 日（火曜日）午後 1 時 15 分から松山総合支所 2 階会議室にて「平成 31 年度大崎市保健推進員連絡協議会松山支部協議会 総会及び研修会」が開催され約 25 名が参加しました。

今回の研修会では民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が地域包括ケアシステムについての説明をし、ニーズと担い手の掘り起こしキットを使い自分の困りごとから地域の困りごとについて考えました。保健推進員の健康教室等の集まる場が地域包括ケアシステムにとって大切な場であることを参加者と共有しました。

平成 31 年度第 1 回地域支援コーディネーター意見交換会を開催しました

平成 31 年 4 月 25 日（木曜日）午前 10 時から大崎口腔保健センター会議室にて「平成 31 年度第 1 回地域支援コーディネーター意見交換会」が開催されました。

今回の意見交換会では、地域包括ケアシステムについて再確認を行い、今年度のコーディネーターの活動をどのように取り組んでいくかについて意見交換を行いました。意見交換の中で「昨年度実施したアンケート調査を基に地域の課題を整理していきたい。」「生活の課題を解決するために住民主体の生活支援の仕組みをつくっていきたい。」などの意見が聞かれました。



医療と介護の連携

平成 31 年度在宅医療・介護連携推進事業実施計画打ち合わせ会が行われました

平成 31 年 4 月 8 日（月曜日）午後 6 時 30 分から大崎市医師会にて「平成 31 年在宅医療・介護連携推進事業実施計画打ち合わせ会」を開催し、大崎市医師会、大崎市在宅医療介護連携支援センター、行政が集まり今年度の事業計画及び主要事業の検討を行いました。

今回の話し合いの中でACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）を周知するための出前講座を行っていくことや介護事業所向け「医学講座」、市民向け相談窓口「フラッといしかいサロン」を実施することについて情報共有を行いました。

「もしバナゲーム」をつかって終末期に大事にしたいことについて考えました

平成 31 年 4 月 19 日（金曜日）午後 1 時から川渡地区公民館にて「人生会議」出前講座を行い、地域住民 30 人が参加しました。まず初めに民生部社会福祉課地域包括ケア推進の職員から「最期まで自分らしく暮らすための 4 つの備えを！」という講座の後に大崎薬剤師会理事から「くすりのはなし」ということで薬を飲むときのポイント等についての話やセントケア岩出山訪問看護ステーションから「在宅医療 訪問看護の役割」について話がありました。

その後もしもの時を考える「もしなばゲーム」を参加者で行い、人生の最期を迎えるときに大事にしたいことを考えました。「もしも・・・命にかかわる大きな病気やけがをしたときのために自分がどうしたいか」を家族で今のうちから話し合っておくことの大切さを考える出前講座となっております。

「詳しく話を聞きたい！」「自分の地域でも出前講座をお願いしたい！」ときには是非、大崎市在宅医療介護連携支援センター（☎0229-25-5376）または、民生部社会福祉課地域包括ケア推進室（☎0229-22-6012）までご連絡ください。

